

# 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043(222)7207 番

94.9.8 No. 4057

## 運転士登用差別事件

### 中労委での審問

### 9/5 胜利的に結審

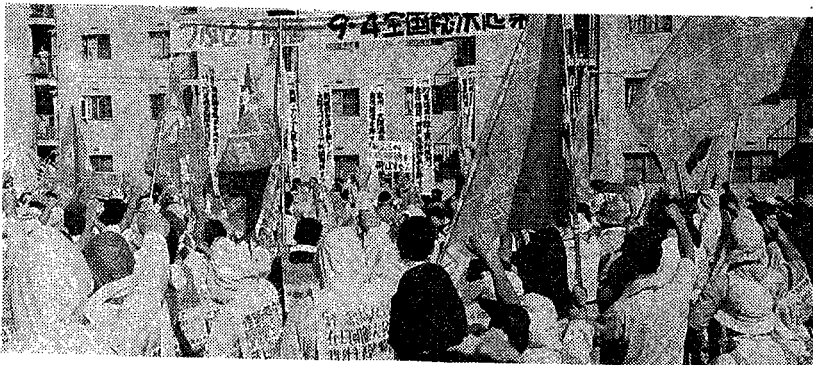
### 田中書記長、JR側反対尋問を完膚なきまでに粉砕!!

「予科生等運転士登用差別事件」の第三回審問が、九月五日、一四時から、中央労働委員会において開かれ、動労千葉田中書記長に対するJR側の反対尋問が行われた。反対尋問でJR側弁護士は、八六年三月に行われた業務移管の問題で、当時の小林運輸部長の「今回の決定(業務移管)がなされた要因は、ストへの報復がすべてではないが、皆無とはいえない」という発言がサンケイ新聞に報じられたことで、「他の新聞には掲載されていないので、このような発言は無かつたのではないか」などと言いつつ出た。これに対し田中書記長は、当時の千葉局今村総務部長が別件の裁判で、小林運輸部長の発言は「全社的な雰囲気だった」と証言していることなどをあげて反論し、労務対策を中心とした不当労働行為として業務移管が行われたことを改めて強調した。

また、動労千葉が証拠として提出したJR作成の資料(八六年三月から九一年三月までの千葉から東京への業務移管の推移をまとめた表)について、「このような表は見ることがない、動労千葉が作った物ではないか」などと、反対尋問にもならないとんでもない言い掛りをつけることに終始するばかりであった。

さらに、肝腎の予科生等の運転士登用問題については、JRの不正義ゆえに動労千葉の主張に一切触れることができず、田中書記長の証言を最後に、本件は胜利的に結審した。

予科生の運転士登用、強制配転されている仲間たちの原職復帰実現に向け、職場での闘いを粘り強く展開し、中労委での勝利命令をかちとろう!



つぶせ開港の4全国集会に五二〇名が結集

## 関西新空港反対闘争に決起

### 開港効 開港効

集会場には、大阪湾岸住民四団体の決意を示す「関西新空港絶対反対! 軍事空港の開港反対!」のアドバルーンも上がった。

九月四日、大阪和泉野市において「関西新空港開港阻止、陸上飛行絶対反対、軍事空港粉砕・米日の朝鮮侵略絶対反対! つぶせ開港! 九・四全国集会」が大阪湾岸住民四団体、関西反戦共同行動委員会の共催により、開催された。

動労千葉も委員長を先頭に代表団を送り、共に闘い抜いてきた。

この日、関西新空港は開港した。しかし、空港連絡橋をはじめ泉佐野市内は、いたる所に機動隊や警察官を配備(警察発表によれば一万人)し、市内を厳戒体制においての開港である。

集会は、一三時すぎより開会された。主催者あいさつにたった新空港反対東灘区住民の会の山本さんは、「自然・住民生活を破壊し、軍事使用される空港に反対し闘ってきた。本日空港が開港をした。しかし三里塚を見てください。反対同盟の闘いよって今もなお欠陥空港の現実が変わらず、二期・三期工事を

阻止し続けている。開港したとしても、われわれが言ってきたことに對し、政府・関西空港会社は何一つ回答していない。八月二十九日の開港式典に際しては、泉佐野駅頭において街頭宣伝を行ったが地元の人は何一つ開港を祝っていない。陸上飛行・軍事空港化を許さず今後も闘い抜く。」と闘争宣言を行った。

関西空港は、開港した。しかし、山本さんも言われるとおり、今後も問題が山積している。空港の初年度赤字は六〇〇億円となり、今後債務は膨れ上がる事となっている。軟弱地盤の空港島は一日一ミリづつ地盤沈下している。そして現段階では実施していない住民を騒音地獄にたき込む陸上飛行ルートが今後の問題となることは明らかであり、なによりも二四時間使用の空港として軍事使用・転用されることは明らかだ。

今後も、力強く関西空港反対闘争を続ける住民団体の闘いに連帯していこう!

## 闘う労働運動の新しい潮流です 九・八労働者集会

### 全力であつまろう!!

九・八労働者集会

9月18日3時

東京都勤労福祉会館  
京葉線日比谷線八丁堀駅